

## 1. 製品規格

寸法	: 500mm × 500mm、 250mm × 1000mm
全厚	: 4.5mm
バックング	: 塩ビ樹脂＋ガラス繊維布＋ ポリエステルフェルト

## 2. 指定接着剤

下地や施工方法に応じて下記表から接着剤を選定ください。脱衣所など水分の持込みが想定される部位では耐湿工法を行ってください。

工法	接着剤
ピールアップ工法	エコGAセメント
一般工法	エコAR600
耐湿工法	USセメント、低臭USセメント、US200、 エポグレーST

### 【エコGAセメント】

(よく乾燥したコンクリート・モルタル下地及び二重床下地)

組成	アクリル樹脂系エマルジョン形
標準塗布量	モルタル下地 : 60～100g/m <sup>2</sup> 二重床下地 : 40～60g/m <sup>2</sup> 塩ビタイル下地 : 40～60g/m <sup>2</sup>
待ち時間	20～60分(接着剤が半透明になるまでの目安)
貼付可能時間	20～180分

〔特長〕 適度な接着力を持ったピールアップ接着剤。初期粘着力に優れ、強いズレ抵抗性を持っている。再接着力がある。

### 【エコAR600】

(よく乾燥したコンクリート・モルタル下地)

組成	アクリル樹脂系エマルジョン形
標準塗布量	300g/m <sup>2</sup>
待ち時間	10～20分
貼付可能時間	10～60分
圧着時間	60分以内

〔特長〕 初期粘着力があり、作業性に優れる。圧着後の収まりが良い。

### 【USセメント】

(湿気のおそれのあるモルタル・コンクリート下地)

組成	ウレタン樹脂系溶剤形
標準塗布量	360g/m <sup>2</sup>
待ち時間	20～30分
貼付可能時間	20～80分
圧着時間	60分以内

〔特長〕 初期粘着力に優れる。耐湿工法用接着剤。ビニル床材に優れた接着力を示す。一液型。

### 【東り低臭USセメント】

(湿気のおそれのあるモルタル・コンクリート下地)

組成	ウレタン樹脂系溶剤形
標準塗布量	360g/m <sup>2</sup>
待ち時間	夏20～30分 冬30～40分
貼付可能時間	夏20～50分 冬30～120分
圧着時間	60分以内

〔特長〕 耐湿工法用接着剤。一液型。

### 【US200】

(湿気のおそれのあるモルタル・コンクリート下地)

組成	ウレタン樹脂系溶剤形
標準塗布量	360g/m <sup>2</sup>
待ち時間	20～30分
貼付可能時間	20～60分
圧着時間	60分以内

〔特長〕 初期粘着力に優れる。耐湿工法用接着剤。一液型。

### 【エポグレー ST】

(湿気のおそれのあるモルタル・コンクリート下地)

組成	エポキシ樹脂系溶剤形
標準塗布量	400g/m <sup>2</sup> (A液・B液 混合後)
待ち時間	20分
貼付可能時間	夏20～60分 冬20～120分
圧着時間	60分以内

〔特長〕 耐湿工法用接着剤として、ビニル系のほとんどの床材に適用可能。二液型。

## 3. 下地条件

モルタル・コンクリート上に施工する際は、以下のことに注意してください。

### ① 下地が平滑であること

下地に凹凸がある場合、下地補修材で埋めて、平滑に仕上げてください。吸水性の高い下地、粉吹き下地には、施工できません。

### ② 下地が充分乾燥していること

- 下地水分指標8%以下→ピールアップ工法、一般工法
  - 下地水分指標8～10%→耐湿工法
- ※高周波水分計『HI-520-2型』による測定。

選択D.MODE	下地水分指標(%)
440未満	8%以下
440以上620未満	8～10%

## 4. 施工

### 【ピールアップ工法の場合】

ピールアップ接着剤『エコGAセメント』で施工を行なってください。

### 【一般工法、耐湿工法の場合】

一般工法時は『エコAR600』、耐湿工法時は『USセメント』『東り低臭USセメント』『US200』『エポグレーST』で施工を行なってください。

### ① 接着剤の塗布

基準線で仕切られた施工部位の1/4面に接着剤を塗布します。接着剤の貼付可能時間や作業スピード、および作業環境を考慮にいれ、必要な面積だけ指定接着剤を塗布してください。

### ② 貼付け

指定接着剤の待ち時間を取り、目地ズレのないように、圧着しながら貼り広げていきます。切り込み枚数が多いときは、接着剤が乾燥することがあるため、切り込み後に接着剤を塗布するなど配慮が必要です。

### ③ 圧着、養生

貼付け後30分以内にTローラー(タイルローラー)や3本ローラー(45kgローラー)などで十分に圧着します。

接着剤などによる汚れや不備がないか確認し、接着剤の強度が出るまで養生期間をとります(溶剤形接着剤:48時間、エマルジョン形:7日以上)。

## その他注意事項

- 重量物を落下させたり、引きずった場合、表面が傷付く場合があります。また、土砂による傷付きと摩耗の影響をできるだけ少なくするために、出入り口部分にはDC-1100・RC-1200や適切な大きさのダスクマット類を使用し、土砂の侵入を防いでください。
- 家具等による局所荷重(耐静荷重)によって、へこみ跡が残る場合がありますので、敷板等で荷重を分散させてください。また、ハイヒールによるへこみ跡やキャスター等による耐動荷重性については事前にご確認をお願いいたします。
- 施工後、台車の往来や家具の移動によって過度の応力がかかると、タイルが剥がれることがあります。重量物を往来させる際には、合板などで保護してください。
- 製品の特性上、目地部から繊維がはつれることがあります。その場合、引っ張らず、はさみ等で除去してください。
- 目地に負担がかかると、目地の芯材のホツレや、タイルの突上げが生じる場合があります。施工環境・使用条件を考慮した上でご使用ください。

※タイルカーペット用アンダーレイシートの上に本製品を施工されると、より左記の現象が発現しやすくなるため、重ね貼り施工は避けてください。

- 下地に段差・隙間・凹凸がある場合、その程度によってタイルの表面にそれらが目立って現れたり、目地部に段差が生じる場合があります。また、目地部に段差があると目地部の芯材が出たり、毛羽立ち、傷の原因になりますので、平滑な下地に施工してください。
- ファブテックタイルより全厚の薄い商品を貼り合わせる際は、必ず段差調整材などを使用してください。
- ワックスメンテナンスは避けてください。
- 床暖房上では使用しないでください。
- ダンボールから取り出し時に製品が滑り出ることがあるため、充分注意してください。
- 製品の特性上、端部が硬くなっているため、軍手を着用するなど取り扱いには充分注意してください。
- さらに詳しい施工については、各種施工マニュアルをご覧ください。

## ファブテック 腰壁・部材 施工要項

### 1. 製品規格

寸法：幅×長さ 910mm×20m  
全厚：1.5mm

※腰壁用部材については、p.26をご覧ください。

### 2. 指定接着剤

#### 【エコAR600】

(石膏ボード、珪酸カルシウム板、乾燥したモルタル・コンクリート下地、合板等)

組成	アクリル樹脂系エマルジョン形
標準塗布量	約50㎡/15kg
待ち時間	10～20分
貼付け可能時間	10～60分

【特長】初期粘着があり、作業性に優れる。VOC発生量の少ない接着剤。

※腰壁用部材の接着剤については、p.26をご覧ください。

### 3. 下地条件

下地材	下地処理
石膏ボード、合板、珪酸カルシウム板	ビス頭は防錆処理し、パテ(仕上げ用)処理後、サンダー掛けを行って平滑に仕上げる。パテ部分にはシーラー処理を行う。
モルタル・コンクリート下地	未乾燥の場合には、十分に乾燥させる。粉ふきが見られる場合はシーラー処理を行う。
壁紙	裏打紙まできれいに剥がしきり、パテ・サンダーで平滑に仕上げ、シーラー処理を行う。
ペンキ下地	下地から浮いている箇所は剥がしきり、パテ・サンダーで平滑に仕上げる。浮きの発生していない箇所も表面をサンダーで軽く荒らしてから、全面にシーラー処理を行う。
その他	下地の種類に合わせて、適切な下地処理を行う。

※ファブテック腰壁の厚みは1.5mmと薄いため、下地の不陸(凹凸)、ひび割れ等の不具合があるとその部分が表面に出ます。必ず下地は平滑に仕上げてください。

※シーラー処理が不十分な場合、接着剤の接着強度が発現せずにファブテック腰壁が浮く可能性があります。部材の両面テープが貼付けられる箇所も同様です。

※油性マジック等が残っていると施工後しばらくしてファブテック腰壁の表面に浮き出てきます。必ず除去してからファブテック腰壁を施工してください。

### 4. 下地の点検、清掃

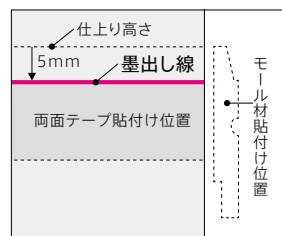
汚れやキズ、へこみ等を修正、状況に合わせて適切な下地処理を行ってください。

### 5. 割付け

「仕上り高さ(ファブテックモール材の上端位置)」を設定します。また、出入口やドア周り、出隅・入隅等を考慮して割付けを行います。

### 6. 墨出し(1回目)

仕上り高さより5mm低い位置に水平の墨出しを行ってください。



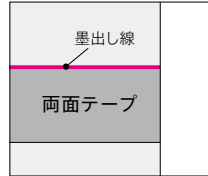
※壁紙が施工されている場合には墨出し線より2mm程度上側でカットし、裏打紙まで剥がしてください。

## 7. 捨て糊

下地と両面テープとの接着力を高めるため、両面テープを貼付ける箇所に必ず合成樹脂系接着剤（エチレン酢ビ系ボンド等）を1～2割の水で希釈して、ハケ等で均一に塗布してください。

## 8. 両面テープ（腰見切用両面テープWU-TAPE-15）の貼付け

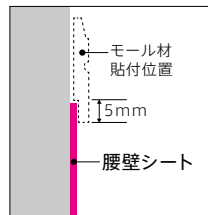
墨出し線に沿って、腰見切用両面テープ（WU-TAPE-15）を貼付けてください。貼付け後はローラーを用いて十分に圧着してください。



## 9. ファブテック腰壁の貼付け

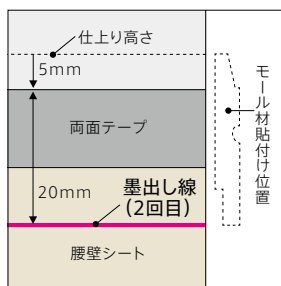
ファブテック腰壁は、水平方向に貼付けします。

- ① 「エコAR600」をくしバケで壁面に塗布してください。
- ② 待ち時間を取ってください。なお、待ち時間は気温や湿度条件により、タックの発現を必ず指触によって確認してください。
- ③ ファブテック腰壁を両面テープ下側に突付けて貼付け、スキージー、ローラー、しごき棒等でエア抜きと圧着を行ってください。なお、ファブテックモール材の下側に5mmの「隠しシロ」を設けてあり、多少のラフ施工が可能です（下図参照）。  
出隅につきましては、ファブテック腰壁を出隅から5mm程度を残して平面部のみ施工してください。また入隅は、入隅部でジョイントしてください。
- ④ やむを得ず平場でジョイントを行う場合には重ね切りで処理し、圧着してください。重ね切りを行う場合は、必ず下敷きを使用してください。



## 10. 墨出し（2回目）

両面テープの最上部（1回目の墨出し線）より20mm低い位置に水平の墨出しを行ってください。



※ファブテック腰壁の表面に墨出しを行います。そのため、施工後に拭き取れるように必ずチョークリールを用いてください。  
※モール材の仕上り高さは、両面テープの上部より5mm高い位置になります。

## 11. ファブテックモール材の貼付け

まず始めに、モール出隅材、モール入隅材を貼付けます。両面テープの上部壁面にゼリー状瞬間接着剤を塗布し、2回目の墨出し線に沿って貼付けてください。

次に、ファブテックモール材も同様に貼付けてください。なお、ゼリー状瞬間接着剤は、40～50cm間隔に対し10cm長さを目安に塗布してください。

※ファブテックモール材の両端には必ずゼリー状瞬間接着剤を塗布することとし、さらに、継ぎ目（断面部）にもゼリー状瞬間接着剤を塗布して接着してください。

## 【ポイント】

2人ペアでの作業をおすすめします。

ファブテックモール材下側に50cm長さの定規をあてがいがながら貼付けていくと直線性が得やすくなります。

## 12. 巾木の貼付け

巾木糊を壁面に塗布し、ファブテック腰壁の下端をファブテック巾木上側の「隠しシロ」に収めながら、ファブテック巾木を下地に貼付けてください。なお、ファブテック腰壁表面にファブテック巾木を重ね貼りする場合は「USセメント」を使用してください。

### ① 割付け（墨付け）、養生

「仕上り高さ（巾木の上端位置）」から3mm程度下に接着剤の塗布基準の線を入れます。

注）ファブテック巾木下部R部分は、軟質配合で下地不陸にもなじむ設計となっておりますが、下地不陸が大きい場合やカーペット施工後の後付け施工の場合には、貼出し墨をご考慮ください。R部分の仕上りが直線にならず、見苦しくなる場合があります。

### ② 糊入れ

基準線より下に巾木糊を巾木糊用ハケで均一に塗布してください。また、適切な待ち時間（目安は5分）を取り、必ず指触によるタックの確認を行ってください。

### ③ ファブテック巾木貼付け

始めにファブテック巾木出隅材と入隅材を貼付けてください。次に、ファブテック巾木も同様に貼付け、製品継ぎ目（断面）にはゼリー状瞬間接着剤を塗布してください。

## 13. ファブテックコーナー材の貼付け

モール出隅材下部からファブテック巾木上部までの長さを正確に測ってください。ファブテックコーナー材を任意のサイズにカット後、角度を出隅の角度に調整してから、USセメントとゼリー状瞬間接着剤を併用して貼付け、必要に応じて隠し釘等を用いてください。

※ファブテックコーナー材上部をファブテックモール材下部の「隠しシロ」に飲み込ませることはできませんのでご注意ください。

## 14. 隙間および継ぎ目のシーリング仕上げ

ファブテックモール材やファブテック巾木の継ぎ目等、スキマの発生した箇所には、色の近いシーリングを注入することをおすすめします。

※シーリング剤は、市販のものをお使いください。

## その他注意事項

- 建築基準法に定められた内装制限を満たしていない場合(スプリンクラーが設置されていない通路等)は施工できません。必ず建物の確認を行ってください。
- 空気溜まりは膨れの原因になりますので、充分にエア抜きと圧着を行ってください。
- 施工時に、ドライヤー等で加熱しすぎると光沢ムラが生じますのでご注意ください。
- 厳寒期は部分的にCRセメントを併用しますが、くし目の立ったくし目ごてを使用しないでください。
- 継目処理の際は天地方向を揃えてください。
- パテ処理部分は、必ずシーラーを塗布してから

施工してください。

- コーナー材は、意匠性の向上およびファブテック腰壁の施工簡便性を目的とした部材です。出隅部分の傷付きを保護するためのガード材ではありませんのでご注意ください。
- モール材の施工は、専用両面テープ(15mm幅)とゼリー状瞬間接着剤の併用で施工してください。目地隙を発生させないために、モール材の継ぎ目(断面部)にもゼリー状瞬間接着剤を塗布してください。
- さらに詳しい施工については、各種施工マニュアルをご覧ください。東リ営業所までお問い合わせください。

## ファブテック タイル メンテナンス

- メンテナンスは、床材を美しく保ち、より長く使用していただくために必要不可欠なものです。特に床は、汚れや摩耗・傷付き等の受けやすい場所であり、適切な清掃で汚れ防止と保護を行うことが必要です。このために行われるのがメンテナンスであり、日常管理、定期管理等によって美観の維持が行われます。
- ピールアップ形接着剤は水やクリーナーの浸込みにより接着強度の低下を招きます。ピールアップ工法の本製品には多量の水を使用することはできません。また、下地がOAフロアの場合は、水の使用が可能かどうか事前にOAフロアメーカー等にご確認ください。また、ワックスは使用しないでください。
- 温浴施設やゴルフ場の脱衣所などで水を直接持込む可能性のある部位では、タイルの目地部からの浸水により、接着力の低下を招き、タイルの剥がれなどが発生する場合があります。吸水マットを設置するなど、水を極力持込まないようにご注意ください。

### 1. 日常管理 (毎日)

- ① ホウキや掃除機でホコリや塵の除去を行います。  
※ブラシ付のアップライト掃除機を使用される場合は、高速回転で使用されると表面を傷める場合もありますので低速回転での使用をおすすめします。
- ② 表面の織り目に付着物が残っている場合はブラシ類を使用して、雑巾等で軽く拭いてください。
- ③ 固く絞ったモップでモップがけを行います。シミ等が気になる部分は雑巾などで集中的に拭いてください。  
※きれいな温水をご使用ください。

## その他注意事項

- ワックスは使用しないでください。
- ゴムとの直接の接触は変色の原因となる場合があるのでお避けください。
- 表面材を構成している塩ビ系には芯材が使用されています。目地部でその芯材が出ている場合には、引っ張らずにはさみ等で除去してください。

※温水のみでの清掃をおすすめします。洗剤を使用される場合は中性洗剤を使用し、充分に水洗いを行ってください。洗剤が残りますと汚れを呼び込みやすくなります。

- ④ 土砂の侵入防止効果を維持するため、ダスマット類に堆積した土砂を叩き出してください。目地部で芯材が出ている場合には、引っ張らずにはさみ等で除去してください。

### 2. 定期管理 (週～月単位)

定期的エクストラクターやポリッシャー(白、赤またはカーペット用マイクロファイバーパッド)で清掃をします。ピールアップ形接着剤は水やクリーナーの浸込みにより接着強度の低下を招くため、スプレー等を使用して極力水の使用量を減らし、水の使用には充分ご注意ください。

- ① ホウキや掃除機でホコリや塵の除去を行います。  
※ブラシ付のアップライト掃除機を使用される場合は、高速回転で使用されると表面を傷める場合もありますので低速回転での使用をおすすめします。
- ② 表面の織り目に付着物が残っている場合はブラシ類を使用して掻き出し、雑巾等で軽く拭いてください。
- ③ エクストラクターやポリッシャーで清掃をします。水の使用には充分ご注意ください。  
※エクストラクターは温水を使用して清掃してください。※ポリッシャーを使用される際は、白、赤パッドまたは柔らかめのブラシをご使用ください。※温水のみでの清掃をおすすめします。洗剤を使用される場合は中性洗剤を使用し、充分に水洗いを行ってください。洗剤が残りますと汚れを呼び込みやすくなります。※汚水、残水は完全に除去してください。※濡れているときは、滑りやすいためご注意ください。

- フラットな表面形状の商品と比べると、表面に織物特有の凹凸がありますので、汚れが残ります。ご注意ください。
- 汚れが付着した際には、すぐに汚れが広がらないように注意して拭取ってください。時間の経過と共に汚れが除去しにくくなります。なお、汚染物質によっては除去不可能なものもあります。

室内のホコリや結露、油汚れや手アカ等の付着により徐々に汚れていきます。また、結露はカビの発生やハガレを誘発させることもあります。使用状況や環境にもよりますが、仕上りの美しさを維持するには、一定のメンテナンスと使用上の注意が必要となります。

## 1. 一般的注意事項

### ① 入居後の換気

施工時の臭いが残っている場合がありますので、入居後一週間程度は十分に換気を行ってください。

### ② 直射日光等からの保護

直射日光が長時間当たる場合、紫外線により劣化と変退色が徐々に進みます。カーテンやブラインドを使用し、直射日光を避けるよう心掛けてください。

### ③ 熱風、高温を避ける

ストーブ等の暖房器具の熱風が直接当たらないようにしてください。熱により変形、変色することがあります。

### ④ 粘着テープを貼らない

粘着テープ（セロハンテープやガムテープ等）を表面に貼付けしないでください。テープの粘着剤が移行し、変色や汚れの原因となります。

### ⑤ ハガレが生じたら

経日変化により部分的にハガレが生じることがあります。ハガレが広がる前に、木工用接着剤等を裏面に塗布し、圧着して補修してください。

### ⑥ 重量物や鋭利なものを当てない

重量物による強い衝撃を与えると、シート表面にキズが付いたり、場合によっては下地破壊に至ることがあります。衝撃を与えないようご注意ください。また、鋭利な刃物などでキズを付けしないでください。補修が困難です。

### ⑦ 家具やゴム製品を壁面に密着させない

家具の塗料に含まれる色素や、ベニヤの色素により変色することがあります。家具との間に隙間を取ってください。また、ゴム製品を表面に長時間密着させると変色することがあります。

### ⑧ 湿気にご注意

キッチンや脱衣室、洗面・トイレなど水蒸気の発生しやすい場所では、湿度の高い状態が長く続くと、結露によるシミ、ハガレ、カビの原因となります。水蒸気の発生を少なくすることと、室内の換気や除湿に心掛けてください。特に、カビはシミ汚染だけにとどまらず、そこで生活される方の体調に影響を及ぼす恐れがありますので注意が必要です。家具裏などの空間には、隙間を取るなどして湿気がこもらないように工夫をしてください。

## 2. 汚れ

### ① 換気に心掛ける

タバコの煙や調理による油煙は、短期間で変色させてしまうため、常に室内の換気に心掛けてください。

### ② 汚れが付着したら

飲食物や調味料等の水性汚れが付着したら、すぐに固く絞ったタオル等で水拭き、または中性洗剤を薄めたものをご使用ください。

頑固な油汚れやマジックペン、ボールペンなどによる汚れは、すぐにアルコール（エタノール）で拭取ってください。長期間放置されると拭取ることができなくなります。

### ③ 薬品や化粧品などを付着させない

スプレー式の薬品、殺虫剤、化粧品等をシート表面に付着させないでください。変色することがあります。

## 3. 結露

### ① 水蒸気の発生源を少なくする

ガスや石油の開放型ストーブをエアコンに切替えたり、加湿器の使用を控える等の工夫をしてください。

### ② 換気、除湿を行う

換気回数を多くし、暖房機等から発生した水蒸気を外へ排出してください。浴室や料理時の水蒸気などは換気扇を使用して排出してください。除湿機、吸湿剤等を使用することも有効です。

### ③ 通気を良くする

家具裏などの空間に余裕を取り、家全体の空気の流れを良くする工夫をしてください。

## 4. 隙間

壁面の入隅では、躯体（建物）の動きによって隙間の発生することがあります。この場合には、コーキング材（合成樹脂系充填材）を充填して隙間を埋めてください。

※表面に用いた場合、コーキングの性質上、長期間使用しているうちにホコリ等が付着して徐々に汚れてくる場合がありますのでご注意ください。（必要量以上は充填しないでください）

## 5. カビ

カビはシミ汚染を発生するだけにとどまらず、そこで生活する人のアレルギーや喘息等の原因になることがあり注意が必要です。カビの増殖する条件は「水分」「温度」「栄養」の3つです。居住環境では「温度」「栄養」は常に満たされており、残る「水分」がカビ発生、増殖の要因となります。防カビ性製品を使用しているだけではカビを防ぐことはできません。カビを防ぐには、前項の結露対策や表面に付着したホコリの除去等が有効です。ホコリが水分を吸収、保持し、カビの原因となりますのでご注意ください。

カビが表面の一部だけに発生している場合、カビが飛散しないよう濡れタオル等で拭取ってから充分乾燥させてください。再発防止策として消毒用アルコール等での殺菌が効果的です。但し、カビが大量に発生している場合は、下地からの修繕が必要となる場合があるため、専門業者の方に相談することをおすすめします。

## ■ ファブテック腰壁用部材

(単位:mm)

部材	ファブテック モール材	ファブテック 巾木 ※意匠登録済み
形状		
部材	ファブテック モール出隅材	ファブテック 巾木出隅材
形状		
部材	ファブテック モール入隅材	ファブテック 巾木入隅材
形状		
部材	ファブテック コーナー材	
形状		

### ■ 規格・価格

品名	ファブテック モール材	ファブテック モール出隅材	ファブテック モール入隅材	ファブテック 巾木	ファブテック 巾木出隅材	ファブテック 巾木入隅材	ファブテック コーナー材	両面テープ (WU-TAPE-15)
規格	25mm(高さ)× 5.5mm(厚み)× 2000mm(長さ)	25mm(高さ)× 5.5mm(厚み)× 200mm(長さ)	25mm(高さ)× 5.5mm(厚み)× 200mm(長さ)	40mm(高さ)× 4.0mm(厚み)× 2000mm	40mm(高さ)× 4.0mm(厚み)× 200mm(長さ)	40mm(高さ)× 4.0mm(厚み)× 200mm(長さ)	25mm×25mm(幅) ×2.5mm(厚み) ×1000mm(長さ)	15mm(幅)× 10m巻
色数	3	3	3	3	3	3	3	—
材質	塩化ビニル樹脂	塩化ビニル樹脂	塩化ビニル樹脂	塩化ビニル樹脂	塩化ビニル樹脂	塩化ビニル樹脂	塩化ビニル樹脂	ポリオレフィン発泡体 アクリル樹脂粘着剤
梱包	10本/ケース ゼリー状瞬間接着剤 1本(10g)同梱	4個/ケース	4個/ケース	10本/ケース ゼリー状瞬間接着剤 1本(10g)同梱	4個/ケース	4個/ケース	10本/ケース	1巻
材料価格 (税抜き価格)	2,700円/本 27,000円/ケース	450円/個 1,800円/ケース	450円/個 1,800円/ケース	3,200円/本 32,000円/ケース	700円/個 2,800円/ケース	700円/個 2,800円/ケース	1,500円/本 15,000円/ケース	950円/巻 —

### ■ 工法

品名	ファブテック モール材 モール出隅材・入隅材	ファブテック 巾木・ 巾木出隅材・入隅材	ファブテック コーナー材
石膏ボード、珪酸カルシウム板、 乾燥したモルタル・コンクリート、 合板等	両面テープ(WU-TAPE-15)と ゼリー状瞬間接着剤の併用	巾木糊とゼリー状瞬間接着剤の併用 ※下地が腰壁シートの場合、USセメントと ゼリー状瞬間接着剤の併用	USセメントと ゼリー状瞬間接着剤の併用
モール材、巾木、コーナー材等の 隙間充填	隙間が発生した箇所には、色の近いシーリング剤を注入することをおすすめします。		



### ■ 部材対応表

ファブテック 腰壁	ファブテック モール材	ファブテック モール出隅材	ファブテック モール入隅材	ファブテック コーナー材	ファブテック 巾木	ファブテック 巾木出隅材	ファブテック 巾木入隅材
FBK601	FBM01	FBMDE01	FBMIR01	FBC01	FBH01	FBHDE01	FBHIR01
FBK602	FBM02	FBMDE02	FBMIR02	FBC02	FBH02	FBHDE02	FBHIR02
FBK604	FBM04	FBMDE04	FBMIR04	FBC04	FBH04	FBHDE04	FBHIR04



## ■ファブテックタイル 耐湿クッションバックキング

特許出願中、意匠登録済み

品名		無地・ピンストライプ FBT-400	ランダムストライプ FBT-450V
価格		8,300円/m <sup>2</sup> (税抜き価格)	
組成	表面材	塩ビ樹脂+ポリエステル繊維	
	バックキング	塩ビ樹脂+ポリエステルフェルト	
規格	全厚	4.5mm	
	寸法	500mm×500mm	250mm×1000mm
	梱包	16枚/ケース(4m <sup>2</sup> )	
防災		防災性能試験番号E2190093	
制電		人体帯電圧3.0kv以下(JIS L 1021-16 23℃ 25%RH 合成ゴム底)	
防汚		表面材に特殊コーティングを施しており、汚れが付きにくくなっています。	
機能性			
貼り方		 市松貼りを標準とします。	
原産国		日本	

●実際の繊維を表面素材に使用しているために、多少の目曲がりや色ムラ等が見られる場合があります。製品の特性上、ご了承ください。●表面に繊維特有の凹凸がありますので、フラットな表面形状の製品と比べると、汚れが残りやすくなります。ご留意ください。●汚れが付着した際には、汚れが広がらないように注意して拭き取ってください。時間の経過や汚染物質によっては、汚れが除去しにくくなりますのでご注意ください。●表面材を構成している塩ビ系には芯材が使用されています。目地部でその芯材が出ている場合には、引っ張らずにはさみ等で除去してください。●ワックスは使用しないでください。●メンテナンスについては、p.24をご覧ください。

### ■工法・ご注意


●ファブテックタイル施工要項(p.21~22)をご参照ください。

### ■ご注文について

●ご注文の際は、製品ラインアップ(p.3)の品番にてご用命ください。

## ■ファブテック腰壁

特許出願中、意匠登録済み

品名		FBK-600	
価格		6,800円/m <sup>2</sup> (税抜き価格) 6,190円/m (税抜き価格)	
組成	表面材	塩ビ樹脂+ポリエステル繊維	
	全厚	1.5mm	
規格	寸法	幅910mm×長さ20m	
	梱包	20m/巻	
機能性			
貼り方		 水平方向に貼付けます。	
原産国		日本	

●実際の繊維を表面素材に使用しているために、多少の目曲がりや色ムラ等が見られる場合があります。製品の特性上、ご了承ください。●表面に繊維特有の凹凸がありますので、フラットな表面形状の製品と比べると、汚れが残りやすくなります。ご留意ください。●汚れが付着した際には、汚れが広がらないように注意して拭き取ってください。時間の経過や汚染物質によっては、汚れが除去しにくくなりますのでご注意ください。●メンテナンスについては、p.25をご覧ください。

### ■工法・ご注意

●ファブテック腰壁施工要項(p.22~24)をご参照ください。

### ■ご注文について

●ご注文の際は、製品ラインアップ(p.3)の品番にてご用命ください。

# 東リ株式会社

東日本営業開発部	TEL03(5403)2067	西日本営業開発部	TEL06(6943)1645
東日本営業開発部 商業施設	TEL03(5403)2066	西日本営業開発部 商業施設	TEL06(6943)1647
東京第1営業所	TEL03(5403)2050	大阪第1営業所	TEL06(6943)1671
東京第2営業所	TEL03(5403)2055	大阪第2営業所	TEL06(6943)1672
八王子営業所	TEL042(648)0588	京都営業所	TEL075(693)7755
横浜営業所	TEL045(664)5810	神戸営業所	TEL078(291)8444
大宮営業所	TEL048(651)1031	広島営業所	TEL082(239)2858
千葉営業所	TEL043(208)1381	岡山営業所	TEL086(244)3366
水戸営業所	TEL029(231)7695	高松営業所	TEL087(815)1150
新潟営業所	TEL025(228)5133	福山営業所	TEL089(925)6366
長野営業所	TEL026(231)3320	福岡営業開発課	TEL092(411)9076
札幌営業所	TEL011(833)0040	福岡営業所	TEL092(411)9076
仙台営業所	TEL022(287)0950	北九州営業所	TEL093(522)0235
盛岡営業所	TEL019(632)6211	鹿児島営業所	TEL099(263)7477
郡山営業所	TEL024(925)5536	沖縄営業所	TEL098(884)5652
名古屋営業開発課	TEL052(733)3532		
名古屋第1営業所	TEL052(733)3471	ハウジング営業部 東京	TEL03(6400)5294
名古屋第2営業所	TEL052(733)3472	ハウジング営業部 大阪	TEL06(4707)7510
静岡営業所	TEL054(280)5272	ダイヤ営業部	TEL03(6400)5290
金沢営業所	TEL076(246)7001	特販営業部 量販営業	TEL03(5403)2073
		特販営業部 特販事業	TEL06(6494)6626
		建築営業部 東京	TEL03(5403)2063
		建築営業部 大阪	TEL06(6943)1643
		グローバル戦略推進部	TEL03(5403)2078

札幌ショールーム	TEL011(833)1730 〒062-0911 札幌市豊平区旭町3-1-7
東京ショールーム	TEL03(5421)3711 〒141-0022 東京都品川区東五反田5-25-19 東京デザインセンター 4F
名古屋ショールーム	TEL052(745)1691 〒466-0006 名古屋市昭和区北山町3-20-1 東リ名古屋ビル 2F
大阪ショールーム	TEL06(6943)1649 〒540-0008 大阪市中央区大手前1-7-31 OMMビル 7F

東リはISO9001の  
認証を取得しています

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」(廃棄物処理法:環境省)に従い、不要となった見本帳につきましては、都道府県知事等の許可を得た産業廃棄物処理業者に廃棄を直接委託して頂きますようお願い申し上げます。(一社)日本インテリアファブリックス協会 東リ株式会社

### 選択上のご注意

- 各種マークの詳細は「東リ総合カタログ」をご参照ください。
- 淡色の場合、汚れが目立ちやすくなります。選定時には色についても充分ご配慮ください。
- 下地から絶えず湿気の上昇が予想される場所では使用を避けてください。接着不良や臭気が発生することがあります。

●コンクリート系下地の場合、そこにアルカリ性の過剰な水分(「高周波水分計HI-520-2型 D.MODEで440未満=水分指標3%以下」以上が目安)があると、塩ビ樹脂中に含まれる可塑剤が分解して、異臭(アルコール系)が発生した事例があります。施工前に、必ず高周波水分計「HI-520-2型」で水分指標を確認し、水分指標が高い場合は、充分乾燥させてください。また、その他にもいくつかの対処方法がありますので、東リ営業所までお問い合わせください。

- 建築基準法・消防法によって使用方法ならびに使用場所に制限があります。各法令法規をご確認ください。防火上、壁面の仕上げ材として、内装制限が設けられていますが、居室等において床面上1.2m以下は内装制限から除外されます。また通路・階段等においてはスプリンクラー等自動式のものと及び施工令126条の3の規定に適合する排煙設備を設けた部分において内装制限から除外されます。
- 現物見本やサンプル帳と、製品の色が若干異なる場合があります。
- 掲載写真の一部に合成写真を含みます。
- 当カタログは2019年7月現在のもので、予告なしに変更することがあります。

### 施工上のご注意

- 施工の前に、添付カタログもしくは各種施工マニュアルをご一読ください。

### メンテナンスならびに使用上のご注意

- 部分的にシミとなった汚れを除去する際は、汚れの原因に応じたシミとり剤や中性洗剤などを使用してください。選択を誤るとかえって変色などを招く可能性があります。こぼさないようにしてください。
- 化学薬品や強い作用を持つ洗剤・漂白剤等により、変色や変質を招く可能性があります。こぼさないようにしてください。
- ある種の家具の脚ゴムやゴムマットなどのゴム製品、塗料、防腐剤、防虫剤などによって汚染され変色を招く可能性があります。これらに直接触れないようにしてください。
- 長時間直射日光が当たる場所では、変色を招く可能性があります。カーテンやブラインドなどによる日よけ、換気を心がけてください。
- 素材固有の臭いがあります。換気を心がけてください。

●日常メンテナンスは、美観の維持およびホコリ防止のため、電気掃除機あるいは固く絞ったモップ、タオル等で汚れを取除いてください。業務用スペースでは、日常メンテナンスと併せて用途に応じた定期的な集中メンテナンスをおすすめします。

- タイルの目地部が水などで濡れた場合は十分に水分を拭取ってください。特に木質系下地の場合は、水分の影響により下地を傷める原因になることがあります。

●水濡れや砂が飛散した状態では滑りやすくなり転倒事故を招く可能性があります。土砂の持ち込みなどが予想される場所では、DC-1100-RC-1200やダスコンマットを出入り口に設置し、室内に土砂が持ち込まないようにしてください。持ち込まれた際には即座に除去するようになしてください。磨耗・傷付きを防ぎ、美観を保持するだけでなく、寿命を延ばす効果があります。

- 重量物や車輪によるしこぎ、ハイヒールや家具などの局部荷重により、タイルの表面にキズや膨れ・へこみ跡が生じる可能性があります。
- 施工後、台車の往来や家具の移動によって過度の応力がかかると、タイルが割られることがあります。重量物を往来させる際には合板などで保護してください。
- 重量物が腰壁に過度の衝撃でぶつかること下地を保護するまでの機能はありませんので、ご注意ください。